

会議録

会 議 名	令和8年度 第1回 目黒区廃棄物減量等推進審議会
日 時	令和8年8月4日(火)午後3時00分～午後4時30分
会 場	目黒区総合庁舎本館1階 E 会議室
出 席 委 員 (敬 称 略)	平尾、高橋、鈴木(薫)、鈴木(ま)、かいでん、関、芋川、原、小林、長友、石塚、 茂呂、鈴木(清)、伊藤、荒田、岡本、吉田(計17名、敬称略)
区 側 職 員	大塚環境清掃部長、山岸清掃リサイクル課長、高山環境保全課長、 坂本清掃事務所長
傍 聴 者	なし
配 付 資 料	資料1 第13期目黒区廃棄物減量等推進審議会委員名簿 資料2 令和8年度審議会スケジュール(案) 資料3 ごみ減量及びリサイクル推進について 資料4 めぐろ衣類回収プロジェクトについて 資料5 食品ロス削減に向けた取組について 資料6 東京二十三区清掃一部事務組合 一般廃棄物処理基本計画(第6次) の策定について
会 議 次 第	1 開 会 20名中、出席者は 16名であり、半数以上の出席があるため定足数を満たしており、会は成立する。(1名遅刻参加) 2 新委員・区職員紹介 3 議 事 <審議事項> (1)令和8年度のスケジュールについて ○区 (資料2により説明) (委員の了承を確認) <報告事項> (2)令和7年度の実績と令和8年度の実行予定について ア ごみ減量及びリサイクルの推進について ○区 (資料3により説明) ○委員 めぐろ買い物ルール等の普及活動について、今後どのようにコンビニエンスストアや目黒区商店街連合会に働きかけていこうと思っているのか。 買い物ルール参加店舗を拡大する取組の目標は何か。その目標をどのように数値化していくのか。 ○区 事業者への働きかけについて、現在買い物ルールステッカーを掲示している事業者の意見を聴き、認知しやすいステッカーの掲示方法などを調査研究しながら、参加店拡大に向け

	取り組んでいきたいと考えている。 取組の目標はごみ減量であり、本取組は、ごみ減量の気運を醸成する仕掛けの一つである。できるだけ多くの事業者に参加してもらい、買い物ルールの認知度を上げ、区民の方にごみ減量に協力していこうという気持ちになってもらえることが重要だと考えている。区の実取組への共感が広まるよう、引き続き努力していきたい。 ○委員 目標のための手段の一つと理解した。 ○委員 マイボトル対応型給水機について、仕様や費用について教えてほしい。 ○区 事業者との協定により、数年間は区の費用負担がない。水道管直結式のもので、冷水機能はなく、電力の消費はない。 ○委員 夏場の冷水の供給、費用面、水の安全性が認知されていけば利用が拡大していくのではないかと。 ○会長 今後、設置台数を拡大していくという話はあるか。 ○区 現状、試行設置のような形のため、費用や利用者の声を勘案しながら、拡大していくかどうか検証したいと考えている。 ○副会長 買い物ルールの認知度について、回答者の年齢層の分析はしているか。 ○区 年齢層の分析はできていない。ご指摘のとおり、回答を分析することで認知の低い年齢層が特定できるので、意識して取り組んでいきたい。 ○委員 マイボトル対応型給水機について、500ml ペットボトル48,636本相当の排出を削減したことになるとのことだが、この数字をどう評価しているか。 ○区 定量的な評価が難しいが、利用状況を見ると悪くない数字だと感じている。エコな取組であることは間違いのないと思うため、試行設置期間に分析をして、検証に活かしたいと考える。 ○会長 東京の水道水は非常にレベルが高いため、給水機はぜひ普及させていただきたい。 ○委員 エコテイクアウト推進補助金について、コロナ禍が明けてテイクアウト需要が減ってきた一方で、中止になっていたイベントが開催されるようになり、イベントの実行委員会や自治体からリユース容器を仕入れて配布している事例がある。今後、イベントにおいてプラスチックごみが捨てられなくなるような取組を支援していくという視点を持ったほうがいいのではないかと。
--	---

	○区 来年度のスキームの検討に当たり、他区の情報等を収集しながらより良い取組になるように調査研究していきたいと考える。 ○会長 イベントでのリユース容器の提供は困難な部分もあると思うので、行政でインセンティブを考えていただきたい。 ○委員 エコテイクアウト推進補助金について、3点。 1点目として、補助金額に対して手続の手間が見合っていないのではないか。申請回数を減らす工夫や、補助対象容器を区が例示することで、事業者の負担を軽減できないか。 2点目として、商店街単位での共同購入など、幅広い申請方法に対応できないか。 3点目として、部局を超えた周知ができないか。生活衛生部局が管理する関連ウェブページに情報を載せるなど、部局を超えた周知に取り組んでもらいたい。 ○区 1点目について、公金の支出という点で、一定の手順を追って手続を進めざるを得ないという認識がある。会計部局にも相談を検討したいと思うが、簡単ではないと考える。補助対象容器の例示については、特定の商品に誘導してはいけないので、その点とのバランスを考慮しつつ、利用者に分かりやすく案内できるよう研究していきたいと考える。 2点目について、補助対象者の単位について研究していきたいと考える。先に指摘のあったとおり、イベント単位での申請というものの可能性があると考えます。 3点目について、他部局とも相談していきたいと考える。 ○委員 エコというのは、考えている人とそうでない人の乖離が大きい分野であると思う。そうでない人に対して、エコな取組に参加する効果が視覚的に分かるようにすると、参加しやすくなると考える。 ○区 様々な品目のリサイクルを進めているところであるが、最終的にどのようにリサイクルされているか、「見える化」していくことが重要と考える。 各品目、少しでもリサイクルされた先を案内できるよう意識して事業を進めていきたい。 イ めぐる衣類回収プロジェクトについて ○区 (資料4により説明) ○委員 全国的に集団回収量が減っている中で、コロナ禍で集団回収をやめた団体が集団回収を再開したのはどのような要因
--	---

	があるのか、そのような団体を増やすにはどのような工夫が必要なのか。 ○区 集団回収の実施団体数が回復している点について、コロナ禍前に多くの団体から請け負っていた回収事業者が事業を再開したという要因が大きい。一方、区内には回収事業者の数が多くない点や、回収事業者の高齢化などを踏まえると、令和元年度のような集団回収の水準まで回復させることはなかなか難しいと考える。集団回収の推進にも努力していきたいと考えるが、民間事業者での回収なども広まってきているので、行政回収、集団回収と共に積極的に案内していきたい。 ○委員 行政回収をしている回収事業者は、集団回収を実施している事業者の一つか。行政回収したものがどのように事業者にわたるのか。 ○区 行政回収を委託している事業者は、集団回収を実施している事業者とは異なる事業者で、入札により選定している。 ○委員 回収業者が信頼できるということが伝われば回収量が増えるのではないか。 ○区 回収された衣類がどのようにリユース・リサイクルされているか「見える化」することが重要だと考える。できるだけ区民に伝えられるような条件を設けて事業者を選定していきたい。 ウ 食品ロス削減に向けた取組について ○区 (資料5により説明) ○副会長 高校生向けワークショップの周知はどのように行うか。 ○区 10月を目途にめぐろ区報でまず紹介しようと考えている。 ○会長 令和4年度の組成調査において、食品ロスと思われるごみが大変多く、未開封食品もかなり捨てられていると記憶している。若い人を中心に「買う」「作る」「食べる」の各シーンで役立つ知識などをまとめて啓蒙・啓発していくことは重要だと考える。教育の現場も巻き込めるような形で進められるといいかもしれない。 <情報提供> (3)東京二十三区清掃一部事務組合一般廃棄物処理基本計画(第6次)の策定について ○区 (資料6により説明)
--	---

	○委員 町田市で AI を使ってゴミ袋の中のリチウムイオン電池等を検知する実証実験を行ったところ、4日間だけでも大量の電池が発見された。想像以上に禁忌品が混ざっているということ、新たな AI の活用方法としてこの場で情報共有する。 ○会長 リチウムイオン電池が原因で、23区の粗大ごみ処理工場で火災が発生し、数か月停止するという事案があった。リチウムイオン電池の分別回収は社会問題になっている。燃やさないごみの日に出されているのも見受けられる。完全放電すれば発火しないが、使えなくなった状態のものは、充電された状態のものが多い。 ○委員 施設整備計画の表の記載によると、令和23年から令和30年の間に目黒清掃工場も整備を行う予定ということか。 ○区 リニューアル工事や延命化工事が必要と想定される期間に入るため記載されている。 ○委員 施設整備計画の表において、新江東清掃工場の欄の下に1,200 トン規模の清掃工場を新たに建設するような表記になっているが、新たに建設するのか、それとも、他の工場の建替で吸収するという意味か。 ○区 記載のとおり「未定」ではあるが、新たな工場を建設する想定と聞いている。 ○副会長 清掃工場の容量を議論するにあたり、首都直下型地震が発生した場合の災害廃棄物も考慮しているのか。 ○委員 災害廃棄物に関しては、考慮していない。 (4)その他 ●連絡事項 ①オピニオンペーパーは8月12 日までに提出。 ②第2回審議会開催日は令和9年2月2日。 4 閉 会 以 上
--	--